

## 6.1 カリキュラムの編成

### 進捗状況報告

学部カリキュラムの改善や改革に向けて以下のように鋭意取り組んでいる。

1. 社会福祉学科では、「医療福祉実習」「ヘルスプロモーション概論」「障害者スポーツ演習」「自治体経営論」等の導入により実習教育やスポーツ科学・健康科学・地方行政等の分野の一層の充実を図っている。
2. 社会学科では、2009年の学部定員増に向けてグローバル化や高度情報化に対応できるようカリキュラムの大幅な改変を検討中である。
3. 総合教育科目では、キリスト教科目の充実のために「キリスト教と現代社会」「キリスト教と近代思想」を新たに設けた。
4. 外国語教育については、英語科目で、二年生のカリキュラムに、*Sociology in English* という原則を導入する試みを実施している。第2外国語については、中国語・朝鮮語関連科目のクラス増によって、以前に比べ学生の希望にかなった履修が可能になっている。また、2009年度を目処として、スペイン語の導入による語種の拡大と必修単位の8単位化等を含め今後の「第2外国語教育のあり方」を検討している。
5. 社会調査士教育については、社会調査士検討委員会において、継続してカリキュラム等の改善を行っている。

### 学内第三者評価

認証評価で評価されているように、カリキュラムの編成は充実していると判断される。カリキュラムの改善について持続的な関心を持ち、改変も行われており、評価できる。認証評価で社会学科が「進級時における履修指導体制について、ガイダンスの実施などに工夫の余地がある。」と指摘されており、進級時のガイダンスの工夫の検討が期待される。

なお、特別委員からは以下の意見があった。

- ・着実に改革が進められていると評価できる。とくに第2外国語履修について、充実を図っている点を評価したい。